

一般社団法人日本専門医機構

平成 30 年度 第 1 回総合診療医検討委員会

議事録

開催日時 平成 30 年 9 月 7 日（金） 14 時 30 分～15 時 45 分

開催場所 TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール 10A
(東京都中央区八重洲 1-8-16 新槇町ビル 10F)

出席者 委員長 羽鳥 裕
委員 寺本 民生
兼松 隆之
有賀 徹 井上 健一郎 金丸 吉昌
北村 聖 清水 貴子 清水 俊明
竹村 洋典 南学 正臣 野村 英樹
邊見 公雄 前野 哲博 山田 隆司
横山 彰仁 渡辺 毅

事務局長代行 栄田 浩二 他

欠席者 委員 今村 聡 石松 伸一 草場 鉄周 園田 幸生

議 題

1. 総合診療研修プログラムの申請について
2. 総合診療専門研修専攻医の研修手帳について
3. 総合診療に関する問い合わせについて
4. 総合診療版 J-OSLER の経緯について
5. その他の諸課題について

冒頭、理事長、委員長より挨拶があり、その後、委員各位からも自己紹介が行われた。

1. 総合診療研修プログラムの申請について

諸般の事情により、今年度分の「総合診療領域における専門研修プログラム申請」が受付開始 8 月 17 日～締切 8 月 30 日郵便消印にずれ込んだ。9 月 7 日には、厚生労働省を介して都道府県に申請状況を知らせるといった厳しい時間制限があったために、プログラム審査については、限定的であった。

「希望定員数」については、3 名以上定員を希望する場合は、理由書の確認、また、理由書の提出がない場合は依頼すること。また、都道府県宛（地域医療対策協議会に相当するもの）に「医療資源の乏しい地域」について意見を伺いその結果については、本委員会での検討が必要であり、今回の申請には対応が間に合わなかったことにより、今回は、暫定的に希望があれば申請書を提出いただき委員会で検討する。また、プログラムの内容、過不足については、別途協議する。

なお、本日の「理事会」に諮り、厚生労働省を通じて、都道府県宛（地域医療対策協議会）にプログラムの暫定的（修正がある場合あり）に内容を送付する旨の説明があった。

2. 総合診療専門研修専攻医の研修手帳について

前期理事会で承認されていたが、諸般の事情により研修手帳の機構ウェブサイト等での公開がされていなかった。総合診療専門研修を開始している専攻医が活用できるようにする。なお、今後、改訂を行っていくことが確認された。

3. 総合診療に関する問い合わせについて

総合診療専門医に関するご質問については、質問メールをまとめるツールなどの検討を行っていき、しばらくの間はExcelにて管理を行うことになった。機構総務規約委員会での問い合わせに関する全体対応が完成した場合には、別途検討する。

4. 総合診療版 J-OSLER の経緯について

内科学会からシステムの納品を受けたが、機構におけるマスターデータの入力が遅延したために「総合診療版 J-OSLER」が稼働していない。可能な限り早く供用するために全力を挙げる。

5. その他の諸課題について

総合診療領域事務職員に西澤氏を加え、さらに増員を検討して事務局体制の充実を図る。

- ・今年度中に「プログラム統括責任者講習会（半日）」「特任指導医講習会（1日）」について開催することとなった。
- ・今まで開催された「プログラム統括責任者講習会」および「特任指導医講習会」について、当日の「参加証」ではなく、「講習受講認定証」を発行する。
- ・総合診療専門研修プログラム責任者、関係者、研修医、専攻医の皆さんからの要望を汲み上げ、可能な限り応えていく。

6. その他

- ・次回委員会の開催については、後日あらためてお知らせすることとなった。